

# 令和4年度予算編成方針

## 令和4年度事業計画策定及び予算編成にあたって

新型コロナウイルス感染症の感染拡大及びその影響は継続しており、これらの収束に向けて新型コロナワクチンの効果が期待されているところではあるが、その時期を明確に見通すことは難しい状況である。

このような中で、感染症の影響により停滞した経済活動や疲弊した地域経済の回復には時間がかかると見られ、本市においては、市税を中心とした歳入について短期間での増収は見込めない一方で、歳出については高齢化の進行や子育て等に対応する社会保障経費が引き続き増加することに加え、新型コロナウイルス感染症に対応する経費も継続して見込まれるなど厳しい財政状況が続くと予想される。

また、市民の生活様式や働き方は、新型コロナウイルス感染拡大により大きく変化し、テレワーク、デジタルトランスフォーメーションへの取組が進むなど社会全体が変革の時期を迎えている。行政においても各種課題、社会的ニーズに対応するため、これまでの事業の手法、認識について根本的に見直し、持続可能な行財政運営を実現していかなければならない。

このような状況を踏まえ、令和4年度予算編成は、義務的経費や継続的な事業を中心に編成するものとし、ポストコロナに向けた社会の変化を的確に捉え、市民のいのち・生活を守り、市民の暮らしやすいまちづくり、持続可能な行政サービスの実現を目指すものとする。